

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025/3/31			
放課後等デイサービスリッパ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		指定基準に基づき支援スペースを確保している。	引き続き利用児童の状況に合わせた支援スペースの確保に努める。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		指定基準に基づき職員の人員配置を行なっている。	職員の基準人員に加えて1名の指導員を配置している。今後もこどもの状態に応じた職員配置を行う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	靴、荷物の置き場所、おもちゃや備品の片付け場所などわかりやすく視覚化する等の工夫を行なっている。	状況に応じて日々安全確認を行い、視覚化等の工夫を行なっていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		日々の清掃に加え、大掃除を定期的に行う。クーラーやウォーターサーバなどは専門の業者に入ってもらいメンテナンスを行なっている。	引き続き清潔な環境を維持していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		クールダウンや、個別の面談が必要な場合に活用できる部屋を設けている。	引き続き個別対応のできる部屋を確保する。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	年度初めに目標設定を行い、一年を通して評価、分析、改善のサイクルを実施している。	引き続き実施しているサイクルを実行していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者からの評価表を職員で読み合わせ、把握し業務改善に繋げている。	引き続き保護者の意向を確認し、改善していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		定期的な管理者対職員の面談の機会を設け、意見を聞きながら改善に努めている。	引き続き職員の面談を設け、個別での擦り合わせを継続していく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	第三者による評価を行っていない。	今後、第三者による評価を検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		法人内の研修に加えて外部の研修への参加も積極的に行なっている。	引き続き、研修の機会を設ける他、常に制度や支援方法のアップデートを行う。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		通知に沿って支援プログラムの作成、公表を行った。	定期的に支援プログラムと支援の実態があっているかの確認を行う。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		日々のこどもの関わりの中でのアセスメント、定期的な保護者との面談からの聞き取りを踏まえて計画を作成している。	引き続き制度に基づく支援計画の作成に取り組む。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		毎日のMTGの中で共通認識を図るとともに、支援会議で計画作成のための聞き取りや計画の共有を行っている。	引き続き毎日のMTGを大切に職員間での共有を行う。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		支援会議で計画作成のための聞き取りや計画の共有を行っている。また、支援記録のフォームにて毎日計画を見ることになっている。	引き続き、計画に沿った支援を行なっていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		サービス等利用計画に照らし合わせた評価の他に、当事業所の個別支援計画やアセスメントシートから評価を行うこともある。	引き続き細やかなアセスメントを行っていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		個別支援支援計画において、それぞれの項目に該当する支援内容を盛り込んでいる。	移行支援や、地域連携についてさらに工夫できることがないか、協議し内容を深めていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		平日の活動も振り返りを行いながら改善点があれば、適時こどもにあった活動を計画している。また、長期休みなどの活動を全職員で話し合いながら通所児童にあった活動を考えている。	引き続き全職員で活動の立案を行なっていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		長期休みなどの活動を全職員で話し合いながら通所児童にあった活動を考えている。	引き続き全職員で活動が固定化しないように話し合いを行なっていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		児童の特性やその日の状態に合わせてながら、個別活動と集団活動の支援を組み合わせ支援している。	今後ニーズに応じて個別の対応の質向上に向けて、調整を行なっていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日支援前にMTGを行い、支援児童や役割分担を行い、支援中も連携を取り合いながら確認を行なっている。	引き続き毎日のMTGで確認していく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		毎日のMTGにて、前日の支援の振り返りや確認を行い、当日の支援につなげている。	引き続き毎日のMTGで確認していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		ICTを活用し、統一したフォーマットで記録の細やかさと効率化も行いながら漏れのないように2重チェックをするなど日々努めている。	今後、記録の質の向上に努める。
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的なモニタリングに加えて、保護者や相談員、学校からの希望に沿って会議やモニタリングを行なっている。	引き続き、定期的なモニタリングを基に支援計画の更新を行なっていく。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		4つの基本活動をバランスよく取り組めるように、活動MTGで話し合いを行なっている他、新しい活動の起案も定期的に行なっている。	地域交流活動の回数が少ないため、次年度少しでも多く取り組めるように努力したい。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		職員の指示通り思い通りにこどもをコントロールするのではなく、選択肢を与えて、自己決定に委ねる環境設定を行なっている。	今後も自己決定をする環境や場面を意図的に作り、その上で選択したことに対するサポートを丁寧にやっていく。